

(別添 3)

**【魚津市】
校務 DX 計画**

魚津市では次世代の校務 DX 実現のため、次のように対策を実施していく。

① 校務支援システムのクラウド化(令和 7 年度実施予定)

現在学校現場で教務・保健・学籍・成績管理など様々な校務に利用されてる「校務支援システム」は、オンプレミス(市役所に備え付けのサーバー)で運用していることから、クラウド上で運用するツールとの迅速な連携が難しい状況にあります。

他のグループウェアや保護者連絡などの汎用クラウドツールと連携し、教職員間での会議資料等のペーパーレス化、教職員の負担軽減、コミュニケーションの迅速化や活性化を可能とする環境を構築するため、次世代の校務デジタル化に向けた校務系ネットワーク・システム等の現状分析や望ましい校務の在り方に関する検討を行い、パブリッククラウド上での運用を前提とした校務支援システムのクラウド化を目指します。

② データ連携基盤の創出(令和 7 年度より検討開始)

次世代の校務DX環境では、児童生徒一人ひとりの各種「教育データ」(学習系データ、教育行政データ、児童生徒の出欠席及び成績情報等の校務系データ等)を収集・分析・可視化する教育ダッシュボードを構築し、それらの情報を効果的に活用して業務及び授業の改善につなげることが期待されています。本市にとって最適な教育ダッシュボードの導入、活用について調査研究を進めます。

③ 汎用クラウドツールの積極的な活用(随時実施)

Microsoft 365 等のクラウドサービスの活用を促進し、校内の会議のペーパーレス化や学校間をまたぐ会議のオンライン開催を積極的に行います。また、押印の見直しにより紙媒体でのやり取りを極力排除し、FAX から電子メールやクラウドストレージ利用へ積極的に移行し、クラウド環境を利用したやり取りを推進します。

④ 校務における生成 AI の活用推進(随時実施)

業務の効率化や質の向上を図るため、生成 AI の校務における活用について、国の実証研究における実践例等の情報を各学校に提供するなど、校務における生成 AI の活用が推進されるよう支援します。

⑤ 教育情報セキュリティポリシーの策定(令和 7 年度より検討開始)

本市教育委員会において、教育委員会専用のセキュリティポリシーが策定されておらず、学

校におけるセキュリティ対策に関して学校間でバラつきがあります。パブリッククラウドの活用を前提としたセキュリティポリシーを策定し学校へ周知するとともに、各校へ指導を行い、統一的で適切な情報資産の取扱いの徹底させます。

⑥ 採点支援システム導入の検討(令和 7 年度より検討開始)

デジタルドリルの活用が進む一方で、学校現場では紙のテストの採点業務が教員の負担になっています。デジタル採点システムを導入している先進自治体の取組を参考にし、ICT を活用した採点業務の効率化について検討を進めます。